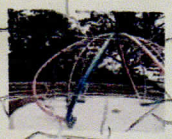
諏訪山公園案内図

一帯は、かつては、諏訪山神社を中心として温泉や動物園などがあり、
多くの人が訪れるなど、神戸市民の行楽地となっていました。明治7(1874)
年に仮天文台でフランス観測隊が金星観測を行いました。明治24(1891)年には
ロシア皇太子ニコライ二世が大津事件の前日に来訪していたという記録もあります。
また、グラウンドのある場所は明治40(1907)年に池が埋め立て整備され、明治
天皇の御小休所が建てられましたが昭和20(1945)年に空襲で消失しました。また、
布引の滝とともにあり、神戸の武道の拠点となった時代もありました。神戸で初めてボー
ル競技が行われたのも諏訪山公園でした。
現在は、温泉や動物園はありませんが、花と緑のまち推進センターを中心に、
子どもの園やひろば、遊具が整備され、市民の憩いの場となっています。また、
ロープウェイでのぼっていったビーナスブリッジからの眺望はすばらしく、観光客にも
人気のスポットとなっています。

1 ビーナスブリッジ（愛の鍵）



ビーナスブリッジは、展望台（ビーナステラス）と金星台からの散策道
を結ぶために昭和46(1971)年に
架けられた8の字型のループ橋で、金星にちなんで「ビーナスブリッジ」
と名付けられました。
ビーナスは、ギリシャ神話では「愛と美の女神」を意味するため、ビー
ナステラスは願いが叶う伝説の場所として有名になりました。
さらに2004)年には、恋人たちが自由に愛の鍵を取り付け、願いを叶
える「愛の鍵モニュメント」が完成しました。

2 諏訪神社

鳥居からの長い急坂の上にあ
る神社は、
1000年以上前の創
建と言われ、
神戸や周辺地域の
守り神となっています。
また、神戸市制施行を祝って寄付
された境内地の一部が
諏訪山公園へと発展
しました。
なお、諏訪山公園と
ともに古くから、神戸
在住の外国人も含め、
多くの地域住民に親し
まれています。

3 旧軍営の碑

勝海舟が海軍操練
所内（現在の京橋
北詰付近）に建て
たものを大正
4(1915)年に移設
しました。

4 金星観測記念碑

金星観測を記念して、建
てられました。碑の上部
には金星がきざまれてい
ます。
碑に使われている円柱
形の石材は、安政の大地
震（江戸時代・1855年）
のときに破損した生田神
社の折れた鳥居を再利用
したものです。

5 金星台

明治7（1874）年12月、フランス人天文
学者ジャンセン氏らが、ここで太陽と金星・
地球が一直線に並ぶ「金星の太陽面通過」
という現象を観測しました。
2004年6月にも再びこの現象を観測する
機会がやってきたことを記念して、プレ
ートが設置されています。
その次の金星の太陽面通過は、2012年6
月6日でそのあとは120年ほど先です。
また、金星台は上から見ると星の形をし
たひろばになっています。

6 子どもの園

昭和3(1928)年6月22日、ここに「諏訪
山動物園」が開園し、多くの市民でにぎわいました。
その後、昭和26(1951)年に「王子動
物園」に移転しました。ゾウの「諏訪
子」は、王子動物園まで道路を歩いて
移動しました。
現在は「子どもの園」として、遊具な
どが整備された遊び場になっています。

7 花と緑のまち推進センター

花と緑に囲まれたまちづくりを推
進するための拠点として、緑化啓発を
行う各種イベント、催しの開催やガー
デニング教室、園芸相談、花と緑のボラ
ンティアなどに関する相談、支援などを
行っています。

◆諏訪山公園の概要
○面　積：42,610㎡
○種　別：地区公園
○設置年：昭和12（1937）年
○施設内容：
花と緑のまち推進センター、
グラウンド、トイレ、金星台、
子どもの園、ビーナスブリッジ、
ビーナステラス（愛の鍵）、
レストラン、駐車場

イカリ山
市章山
連理のクス
市街地
ビーナスブリッジ
バス停
灯籠茶屋
大師道
駐車場
展望台
ビーナステラス
（愛の鍵）
標高約160m
レストラン
トゥールドール
ビーナスブリッジ
中の道
諏訪神社
標高約80m
子どもの園
金星台記念碑
現在地
金星台
標高約90m
諏訪山公園
東口
諏訪山公園
登り口
諏訪神社参道ハイキングコース
再度公園への
登山道
神戸山手女子
中学・高等学校
神戸市立
花と緑のまち
推進センター
グラウンド
標高約50m
明治天皇
御小休処碑
諏訪山
交番
諏訪山公園下
バス停
神戸山手大学
神戸山手短期大学
兵庫県庁
相楽園
元町駅
N
25
50
100m

管理者：中部建設事務所 078-511-0515
休日・夜間・早朝の緊急のみ
休日夜間緊急連絡センター 0120-086-106

樹名札

樹名札かけ